

# 秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり協議会

## 第1回

### - 目次 -

1. 秦野駅北口周辺地区について . . . . . 2
2. まちづくり検討組織の設置の目的 . . . . . 9
3. まちづくり検討組織の体制と検討内容 . . . . . 10
4. 今後のスケジュール（予定） . . . . . 14

令和4年8月26日

秦野市  
はだの魅力づくり推進課



# 1. 秦野駅北口周辺地区について

## (1) 秦野駅北口周辺地区の位置



# 1. 秦野駅北口周辺地区について

## (2) 秦野駅北口周辺地区に関わるこれまでのまちづくりの主なできごと-1

年度	主なできごと
昭和60 (1985)	総合計画でシビックマート構想の提唱
昭和61 (1986)	秦野駅北口周辺整備計画を策定
平成 2 (1990)	秦野市本町一丁目地区まちづくり研究協議会の発足
平成 7 (1995)	シビックマート構想事業推進協議会の発足 ジャスコ (現イオン) 秦野店が専売公社跡地にオープン
平成 8 (1996)	協議会によりまちづくりビジョンを策定
平成 9 (1997)	具体化策「施設計画案」を策定
平成10 (1998)	シビックマート計画推進を断念 (同時に協議会は解散)
平成11 (1999)	シビックマート構想の白紙撤回を表明

# 1. 秦野駅北口周辺地区について

## (2) 秦野駅北口周辺地区に関わるこれまでのまちづくりの主なできごと-2

年度	主なできごと
平成11 (1999)	秦野市まちづくり条例を制定 (平成12年度施行)
平成12 (2000)	秦野市本町四ツ角周辺地区まちづくり促進協議会の発足
平成15 (2003)	協議会でまちづくり全体構想を策定
平成19 (2007)	本町上宿まちづくり協議会の発足
平成20 (2008)	本町上宿地区まちづくり基本構想を策定
平成22 (2010)	県道705号 (第1工区) の着手
平成25 (2013)	秦野駅前通り周辺まちづくり検討会の発足
平成28 (2016)	県道705号 (第2工区) の着手 本町705周辺整備検討会の発足
令和 2 (2020)	県道705号の供用開始が令和8年度と示される
令和 3 (2021)	本町705周辺まちづくり協議会の発足

# 1. 秦野駅北口周辺地区について

## (3) 上位関連計画における位置づけ-1

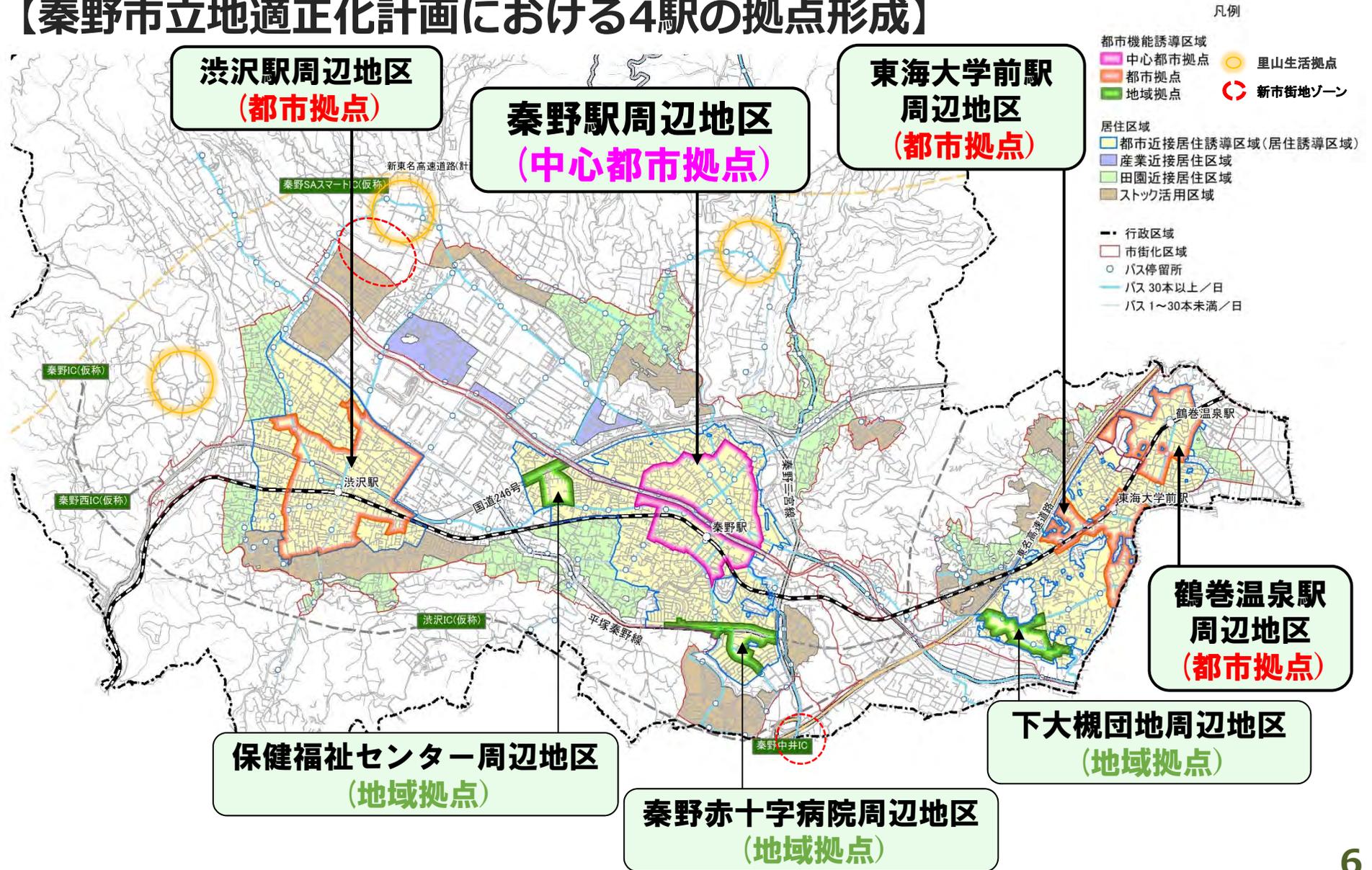
- 総合計画及び都市マスタープラン（令和3年3月改定）、立地適正化計画（令和2年4月策定）では、活力とふれあいに満ちた中心都市拠点を目指し、**市民等との協働・連携による持続可能なまちづくり**を推進
- 「小田急4駅周辺にぎわい創造に向けた中心市街地活性化推進方針」（令和3年12月政策決定）では、**4駅※それぞれの特徴を生かした都市の拠点として魅力を高め、市域全体が誰もが訪れたいくなるまち、住みたくなる暮らしやすいまち**を推進

※秦野駅・渋沢駅・鶴巻温泉駅・東海大学前駅

# 1. 秦野駅北口周辺地区について

## (3) 上位関連計画における位置づけ-2

### 【秦野市立地適正化計画における4駅の拠点形成】



# 1. 秦野駅北口周辺地区について

## (4) 秦野駅北口周辺地区の現況

- 地区内は、商店街のにぎわいの減少、空き店舗や低未利用地の利活用が進まない、狭隘道路や空き家の解消が必要など課題が多い

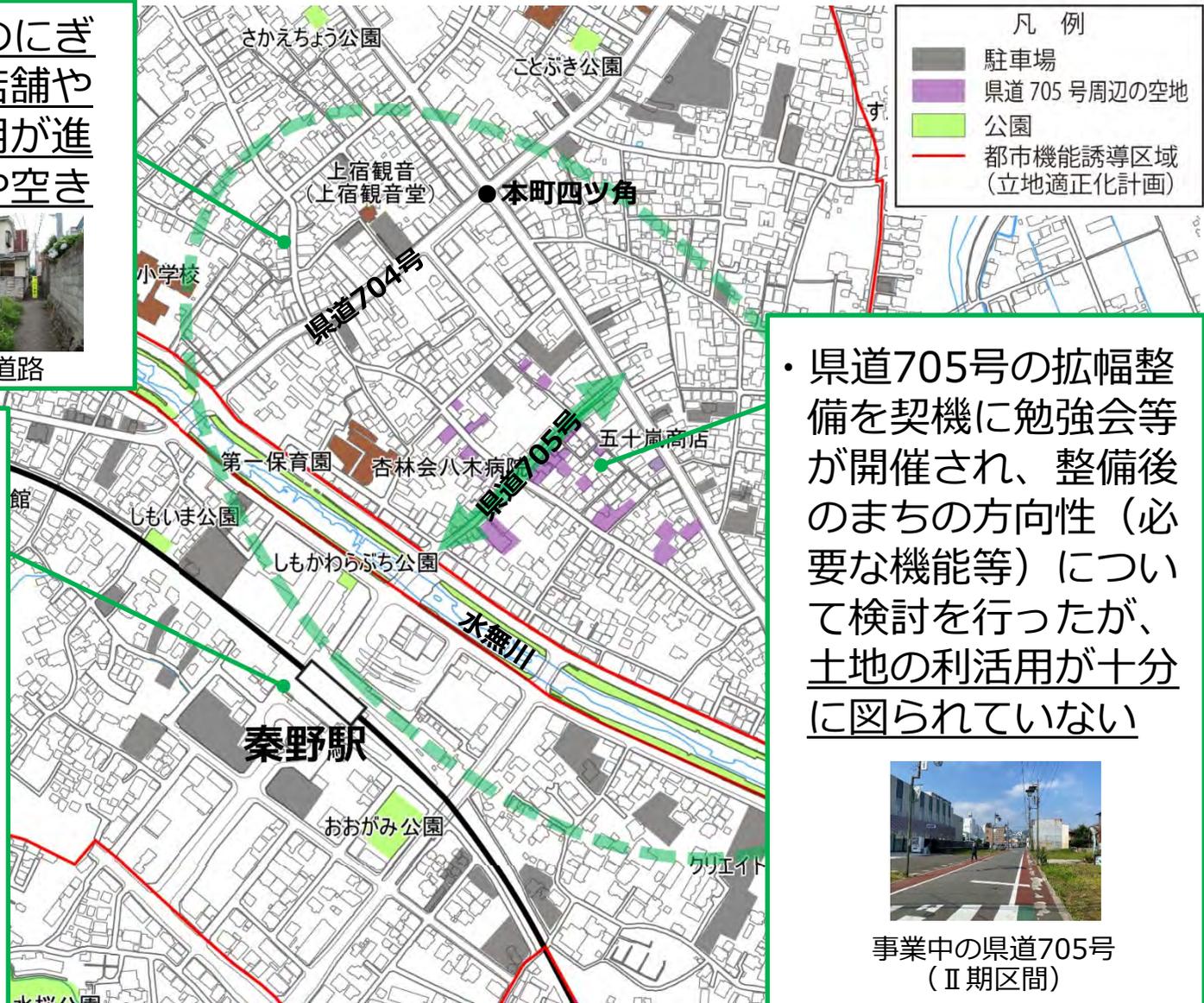


狭隘道路

- 秦野駅は市内で最も乗降客数が多く（約4.2万人/日）市の玄関口であるが、鉄道利用が主目的となり、市民等のにぎわい、交流の場になっていない



秦野駅  
北口広場



- 県道705号の拡幅整備を契機に勉強会等が開催され、整備後のまちの方向性（必要な機能等）について検討を行ったが、土地の利活用が十分に図られていない



事業中の県道705号  
(Ⅱ期区間)

# 1. 秦野駅北口周辺地区について

## (5) 近年のまちづくりの潮流

- 社会経済情勢等の変化から、公共投資や行政サービスの効率化が求められ、**民間活力を最大限活用していくことが必要不可欠**となり、様々な地域で公民連携によるまちづくりの推進・検討が行われている。
- また、都市の成熟に伴うまちづくりの変化により、**つくる時代から使う時代、使いこなして稼ぐ時代へと変化**し、市民等の使い手の意見を取り入れた公共空間の整備や、地域団体、事業者等による公共空間等の活用が進んでいる。
- 一方で、地域により課題やまちづくりの主体等が異なるため、**地域に適した形で進めていく必要があること、行政と民間の考え・方向性の相違**があること、**地方都市においてはまちづくりのプレイヤーが少ないこと**等、公民連携まちづくりを進めていく上での課題を有しているのが現状である。

## 2. まちづくり検討組織の設置の目的

### (1) まちづくり検討組織（協議会等）設置の目的

**秦野駅北口周辺地区のこれまでのまちづくりの経緯から**  
地域（協議会等）主体によるまちづくり構想の策定等といった市民協働によるまちづくりへの移行や、まちづくりに対する市民の意識の変化

**市の施策等から**  
中心都市拠点として都市機能の誘導及び交流人口の増加等を推進

**地区の現況から**  
地域の実態・ニーズ等を踏まえた低未利用資産等の活用（サービス提供や新たな施設の導入等）が求められている

**近年のまちづくりの潮流**  
**“つくる”から“使いこなす”空間整備へ**

これまでの地域の取組みや新たなまちづくりのニーズ等を踏まえた上で、秦野市の中心に相応しい、にぎわいと交流の都市拠点の形成に向け、**地域一丸となって新たな一歩を踏み出すことが必要**

**公民が一体となって取り組む場・機会の創出 = 協議会等の設置**

### 3. まちづくり検討組織の体制と検討内容

#### (1) 公民連携による取組の推進に向けた組織体制

##### 構成委員（公募）

対象地域の自治会、  
商店会の会員  
対象地域に立地する  
企業の従業員  
対象地域の活性化に  
意欲を有する者

秦野市4駅  
にぎわい創造  
検討懇話会  
(秦野駅)

まちに係る様々な人のまち  
に対する思い、アイデアを  
引き出し、形にする場

##### 庁内関係課等

総合政策課、行政経営課、財政課、広  
報広聴課、財産管理課、市民活動支援  
課、生涯学習課、文化振興課、こども  
育成課、健康づくり課、環境共生課、  
産業振興課、観光振興課、まちづくり  
計画課、都市整備課、交通住宅課、道  
路整備課、国県事業推進課

秦野にぎわい  
創造  
プロジェクト  
推進会議

将来像の実現に向けた市の役割の確認・共有、  
重点事業推進に向けた連絡・調整の場

秦野駅北口周辺  
にぎわいのある  
まちづくり  
協議会

将来像の実現に向けた市民  
等の思い・アイデアを  
具体化する場

##### 構成委員

学 識：東海大学建築都市学部、  
神奈川大学建築学部  
地 域：自治会、商店会  
経済団体：秦野商工会議所、  
秦野市農業協同組合  
企 業：公共交通事業者、  
金融機関  
行 政：副市長、政策部長、  
都市部長、建設部長

事務局 はだの魅力づくり推進課駅周辺にぎわい創造担当（各組織の運営、進行管理、調整等）

### 3. まちづくり検討組織の体制と検討内容

#### (2) 各組織の役割と検討内容（令和4～5年度）-1

#### 秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会（秦野駅）

まちに係る様々な人のまちに対する思い、アイデアを引き出し、  
形にする場



実践の場（社会実験）を通じた達成感、仲間づくり、キーパーソンの発掘

#### 対象者

- ・ 市民、地域団体、民間企業等、まちに係る人であれば誰でも参加可能
- ・ 人任せではなく、自分事としてまちのことを考えることが前提

#### 検討内容

- ・ 自分事として将来のまち（将来の暮らし等）を考える・共有する
- ・ やりたいこと、できそうなこと（アイデア）を具体化し、実践・検証しながら、今後の自分達の役割、関わり方について考える
- ・ 懇話会を通じて、地域のまちづくりの機運の向上、仲間づくり、キーパーソン発掘等につなげていく

### 3. まちづくり検討組織の体制と検討内容

#### (2) 各組織の役割と検討内容（令和4～5年度）-2

#### 秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり協議会

#### 将来像の実現に向けた市民等の思い・アイデアを具体化する場



懇話会と連携した具体的取組みの実践（社会実験の実施）、ビジョン・市街地活性化推進計画の検討（目指すべき方向性（将来像）、公民の役割・体制、ビジョン実現のための重点プロジェクトの抽出等）

#### 対象者

- ・まちづくりや事業等のノウハウを有する者・組織・企業等
- ・秦野駅周辺等にインフラ・アセット<sup>※</sup>等を有する組織・企業等

※インフラ：鉄道、道路などの都市基盤 アセット：不動産など

#### 検討内容

- ・各機関の有するノウハウ等を活用し、懇話会のアイデアの具体化に向けた議論を行い、実践（社会実験の実施）につなげる
- ・秦野駅北口周辺地区の将来像の実現に向けた公民連携まちづくりのあり方（公民の役割）、継続的な体制・仕組みづくりについて検討し、ビジョン及び市街地活性化推進計画へ反映する

### 3. まちづくり検討組織の体制と検討内容

#### (2) 各組織の役割と検討内容（令和4～5年度）-3

#### 秦野にぎわい創造プロジェクト推進会議

将来像の実現に向けた市の役割の確認・共有の場  
重点プロジェクト（公共事業）の推進に向けた連絡・調整の場



市街地活性化推進計画や都市再生整備計画等の具体計画へ反映

#### 対象者

- ・ 庁内関係各課

#### 検討内容

- ・ 懇話会、協議会の検討・活動を踏まえ、将来像実現に向け、市としてやるべきこと、市の役割を庁内で確認・共有する
- ・ 重要な施策・事業（重点プロジェクト）の推進に向けた庁内の連絡・調整の場として機能

# 4. 今後のスケジュール（予定）

## （1）今後のスケジュール（予定）について

	令和4年度 (2022)										令和5年度 (2023)									令和6年度 以降 (2024~)	
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1
秦野駅北口 周辺にぎわい のある まちづくり 協議会	アイデアの具体化										懇話会と連携した具体的取組みの実践 (社会実験の実施)									継続的取組み による にぎわいの 創出・体制 づくり	
	第1回 協議会 (今回)	未来ビジョン・市街地活性化推進計画の検討										第2回 協議会	第3回 協議会	第4回 協議会	第5回 協議会	計画素案 作成					
秦野市4駅 にぎわい創造 検討懇話会 (秦野駅)	未来ビジョンの具体化										未来ビジョン策定									継続的取組み による にぎわいの 創出・体制 づくり	
	情報発信・アイデアの引き出し (ワークショップの開催)										具体的取組みの実践 (社会実験の実施)										
秦野にぎわい 創造プロジェ クト推進会議 (庁内連絡会)	第1回 会議 (7/14)	第2回 会議	第3回 会議	第4回 会議	R5 第1回 会議						R5 第2回 会議	R5 第3回 会議	R5 第4回 会議								